



EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN



GREEN×EXPO 2027
公式マスコットキャラクター
トックトック
©Expo 2027

2027年国際園芸博覧会 日本国政府出展

高校生 ガーデン研究・制作グループ募集

2027年国際園芸博覧会 政府出展参画プログラム 公募要領

主催：農林水産省

1.趣旨

国際園芸博覧会は、国際的な園芸・造園の振興と緑あふれる暮らしの創造等を目的に各国で開催されており、我が国は2027年に神奈川県横浜市において、最上位（A1クラス）の国際園芸博覧会である2027年国際園芸博覧会（以下「園芸博覧会」という。）を開催します。

園芸博覧会における政府出展では、準備段階から多様な主体の参画、特に次世代の花き園芸、造園、農業の担い手となりうる世代との共創による出展を行うことにより、園芸博覧会を通じて培われた関係性や取組等をレガシーとして残すことを目指しています。このため、農林水産省では、高校生を対象に、テーマに沿ったガーデンの制作と、ガーデンを実現させるための課題研究活動を行う「2027年国際園芸博覧会政府出展参画プログラム」の活動グループを募集します。

2.対象者

高校生（高等学校、高等専門学校、高等専修学校の学生（3年生以下））により構成されたグループ。

※ 農業に関する学校教育機関に限りません。

※ グループの構成人数は問いません。

※ 卒業や新入に伴うグループメンバーの入れ替わりは可能です。

※ 複数の学校教育機関によるグループの取組も可能です。

※以下の注意事項に全て同意の上、応募してください。

[注意事項]

- 園芸博覧会の閉会まで継続して参加でき、目的を達成できるグループとしてください。
- メンバーが在学する学校教育機関（学校長）の承認を得るとともに、担当教諭を配置してください。
- 同一の学校教育機関が承認して応募できるグループは、1グループのみとします。
- 本事業に採択されたグループについては、学校名、メンバー等を公表します。また、本事業の活動の様子や取組成果等を発信するため、SNS、YouTube、メディアの取材等への対応へご協力いただく場合があります。

3.応募期間

令和7年4月14日（月）～令和7年6月20日（金）

4.応募方法

以下の農林水産省ウェブサイト内の本事業ページにある応募フォームのリンクより必要書類を提出してください。

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/expo2027/sankaku.html>

※ 応募書類提出後、受理の連絡をご登録いただきましたメールアドレス宛てに行います。応募書類提出後、1週間を経過しても受理の連絡がない場合は必ずお知らせください。

5.応募内容

応募用紙に以下の必要事項を記入し、応募締め切りまでに提出してください。

- ① 応募者（学校名、グループ名、メンバー等）
- ② 責任者（学校長、担当教諭等）
- ③ 制作するガーデンのテーマ及びガーデンを実現させるための課題研究テーマ
※ 6.応募テーマに沿ったものとしてください。
- ④ ガーデンデザイン

植物配置図（平面図）及び立体イメージ図の2種類を提出してください。

※ 立体イメージ図は、手書き、パース図、CADデータ、3Dデータ、映像等、立体イメージが分かるものであれば、形式は問いません。

※ 会期中で最も見所となる時期のガーデンデザインを提出してください。特に時期による差がない場合は、春・初夏（3月～6月頃）のプランを提出してください。

※ ガーデンデザインについては、会場での実際の形とは異なりますが、5.0m×5.0mのプランを作成してください。なお、今後実施する課題研究活動の成果等により変更は可能です。応募に際しては、現時点の想定プランを記載してください。

※ 植物配置図はA3用紙、縮尺を1/20とし、配置する植物及び装飾物をすべて明記してください。

- ⑤ ガーデンデザインの解説
- ⑥ メンテナンス計画（期間 ガーデン制作後～令和9年9月）
- ⑦ 研究計画（期間 令和7年8月～令和8年11月）
- ⑧ 活動資金計画（期間 令和7年8月～令和9年9月）
- ⑨ 経歴・過去の受賞歴（任意）

※ 植物リストや活動資金計画の策定にあたっては、別添「植物リスト」を参考にご覧ください。リスト以外の植物を使っていたいただいても構いません。

※ 応募フォームに添付するデータはPDFファイルとしてください（完成イメージ図は除く）。

※ 1グループにつき、応募できるプランは1つとします。

※ 学校の授業内の課題・研究、部活動、ゼミ・サークル活動等の一環として取り組む内容についても応募可能です。

※ 応募プランはオリジナルのものに限ります。また、他人の知的財産権等を侵害しないものとしてください。知的財産権等の取得は、必要に応じて応募者が行ってください。万が一、第三者の権利侵害が発覚した場合、主催者は一切の責任を負いません。

※ 生成AIを使用した場合には、使用した箇所に「生成AIを使用して作成」と明記してください。

※ 応募書類を提出することで、応募者は本公募要領に記載された全ての事項に同意したものとみなします。応募課題等に違反があった場合は、応募及び採用を取り消します。

6.応募テーマ

以下の「テーマ」及び「サブテーマ」に沿ったガーデンを制作するものとします。応募に当たっては、キーワード(例)もヒントとして、制作するガーデンのテーマ(ガーデンテーマ)を設定してください。

テーマ		
花とみどりで創る景色		
サブテーマ		
明日の環境を考える	明日の暮らしを考える	明日の健康を考える
キーワード（例）		
<ul style="list-style-type: none">・地球温暖化対策・環境負荷低減・生物多様性の保全・持続可能性・ネイチャーポジティブ	<ul style="list-style-type: none">・都市緑化・ヒートアイランドの抑制・エディブルガーデン・地域の活性化・GX(グリーン・トランスフォーメーション)	<ul style="list-style-type: none">・Well-being・バイオフィリア・グリーンアメニティ (リラクゼーション効果、鎮静効果、癒し)・ガーデンセラピー

(参考) ガーデンテーマの例

生物多様性を育むビオガーデン、都市を冷却するガーデン 等

※ 例に示した内容に限らず、テーマに沿った内容であれば自由な発想を歓迎します。応募者の独自のアイデアや創造性を期待します。なお、サブテーマやキーワードは複数にまたがっても構いません。

7. 審査及び審査結果通知

応募書類をもとに審査員及び主催者によって、審査基準に記載する取組内容等について一次審査を行い、10組程度のグループを選考します。選考されたグループによる二次審査（プレゼン）を都内会議室にて実施し、採択グループ5組程度を決定します。

一次審査

開催時期 令和7年7月上旬（予定）

二次審査

開催時期 令和7年7月下旬（予定）

開催場所 東京都内（予定）

※審査結果は、審査実施後速やかに参加者へ通知します。

※二次審査会の詳細は4月下旬頃決定予定です。

※二次審査会はオンラインでの参加も可能です。

8. 審査基準項目

	審査項目	審査内容
取組内容	業務遂行能力	会期終了までやり遂げる体制が整っており、計画性があるか
	テーマ適合性	企画内容が応募テーマと合致しており、取り組むべき意義があるか
	独自性	企画内容に創意工夫や独自性があり、意欲にあふれた取組であるか
	レガシー	園芸博覧会終了後もレガシーとして残る取組であるか（人や企業、地域のつながりを生む、地域活性化につながる、他者が実践する際の参考となる等）
ガーデン制作	デザイン力	来場者が美しいと感じられるか 来場者の関心を得られる工夫があるか
	持続可能性	持続可能なガーデンへの配慮がなされているか
	波及性	他者も取り入れやすい工夫がなされているか ローメンテナンスで、誰でも管理しやすいか

9. 会場 ※採択後にガーデン制作を行っていただく予定スペース

2027年国際園芸博覧会政府出展エリア内（旧上瀬谷通信施設（神奈川県横浜市））

Nature-based Design

GREEN×EXPO 2027では、会場計画地の環境を振り返り、かつく気候変動と建築の関わりとを考えた地形や、南北方向の水の流れ、風の動き、残された森林地等の自然資本を活かした会場づくり(Nature-based Design)を追求する。この上で5つのヒレッジと3つのゾーンが展開され、日本の様物質と文化を活かした園芸博覧会が創り上げられます。

ゾーン

GREEN×EXPO 2027の骨格となる3つのゾーン

- 国際出展ゾーン**
世界の諸文化、食文化の多様性に沿った国際色豊かなゾーン
- シボロゾーン**
テーマ館や多彩なコンベンションを行う世界規模の展示ゾーン
- 日本ゾーン**
日本政府による展示や展示施設、自然体験などを実施し、日本の園芸文化の発展を促す展示ゾーン

Village

会場内に設定される5つのVillageのコンセプトに沿って、出展者様と主催者の共創によりテーマを実現

- Urban GX Village**
カーボンニュートラル社会に向けたGX Village
- City Village**
都市とつながるための新しい暮らしの提案
- Farm & Food Village**
食の未来をテーマにしたフード＆アグリゾーン
- Kids Village**
子供たちの学びをテーマにした自然と遊びのゾーン
- SATOYAMA Village**
自然と人、人と人が調和し、共に生きる

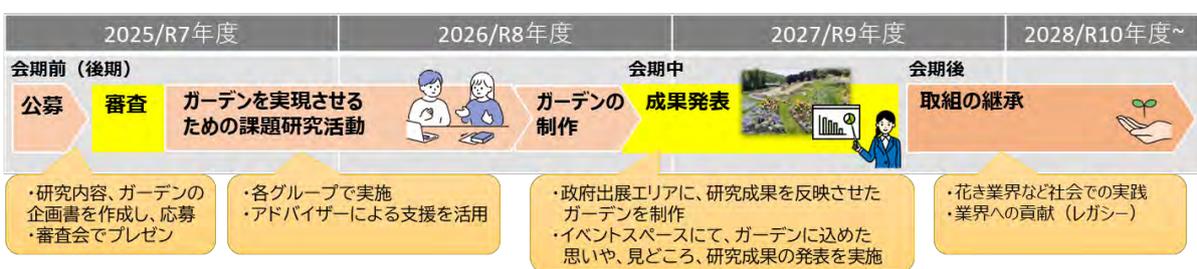
政府出展

政府出展エリアの展示館出口付近スペースにガーデンを制作していただく予定です。

10.応募から選考後の活動内容スケジュール（予定）

- ① 企画書の作成（応募）（～令和7年6月20日）
 - ・ テーマ及びサブテーマ（6.応募テーマ参照）に基づいたガーデン制作及びそのガーデンを実現させるための研究計画を立て、必要事項を応募書類に記載し、提出してください。
- ② ガーデンを実現させるための課題研究（採択後～令和8年秋）
 - ・ ①で企画したガーデンを実現させるための課題研究活動を実施してください。
 - （参考）研究の例
 品種選定や栽培体系、波及効果測定、実用化を見据えたマーケティング調査等
 ※例に示した内容に限らず、ガーデンを実現させるための研究であれば構いません。
 - ※ 課題研究活動が効果的に進められるよう、専門的な知識や経験を持つアドバイザーによる支援を予定しています。アドバイザーとは、学生の課題研究活動がより充実したものになるように、研究内容や手法等に対して専門的な知識によってアドバイスを行うことを想定しています。
 - ※ 令和7年9月（予定）にキックオフミーティングとして、他の採択者等と交流や、制作場所（園芸博覧会会場）を見学する機会等を設ける予定です。
- ③ ガーデンの制作（令和8年12月～令和9年3月上旬）
 - ・ 課題研究活動の成果を反映したガーデンを制作してください。
 - ※ 主催者が来場者向けにガーデンの紹介パネルを作成、設置予定です。
- ④ 取組成果の発表（令和9年3月19日～9月26日）
 - ・ 会期中、政府出展展示館で、②の課題研究の結果を含む取組成果の発表を行ってください（会期中に1回程度）。
 - ・ 取組過程や成果を情報発信してください。農林水産省ウェブサイト等でも情報発信します。
- ⑤ メンテナンス
 会期中を通して、美しいガーデンを保てるよう、花の植替え等、メンテナンスを実施してください。主催者で最低限の管理は行いますが、できるだけローメンテナンスで維持できるガーデンの企画にしてください（詳しくは12をご覧ください）。
- ⑥ 撤去
 会期終了後、主催者にて撤去作業を行います。制作者が展示に使用した物で必要なものがある場合は、閉会后、会場にてお引き取りください（要調整）。

時期	内容
令和7年4月14日	応募受付開始
令和7年6月20日	応募受付終了
令和7年7月上旬	一次審査（書類審査）
令和7年7月中旬	審査結果通知
令和7年7月下旬	二次審査（プレゼン審査）
令和7年8月上旬	審査結果通知（採択者決定）
令和7年8月中旬～令和8年11月	課題研究活動
令和7年9月頃（予定）	キックオフミーティング （採択者交流会、園芸博覧会会場見学等）
令和8年11月～	ガーデン制作準備
令和8年12月～令和9年3月上旬	政府出展エリアでガーデン制作
令和9年3月19日～9月26日（会期中）	ガーデン展示、政府出展エリアイベントスペースで取組成果の発表
令和9年9月27日～	政府出展解体



11.政府出展エリアのガーデン制作について

- 制作ガーデンは、園芸博覧会会場内の政府出展エリア内の指定場所とし、1グループあたり約25㎡を想定しています（指定場所内のガーデン制作場所は主催者が決定します）。
 - 制作可能期間は令和8年12月中旬から令和9年3月上旬の予定です。
 - 作業時及び会期中の来場者の安全を確保できるガーデンの計画及び制作を実施してください。
 - 制作開始後、制作の方法または作品の仕様が安全性等を損なう恐れがある場合は、制作方法や作品の変更を指示する場合があります。
 - 会場内で重機及びエンジン動力機材の使用はできません（電動機材については使用可能）。
 - 植栽前の土壌改良や施肥は可能とします。なお、現況土の土壌分析結果は主催者より事前にお知らせします（※計画段階では一般的な元肥のみ勘案ください）。
 - 補足的な装飾物（レンガ、タイル、オベリスク等）の使用は可能です。ただし、与えられた敷地の範囲外に影響を及ぼさないようにし、また会期終了後に撤去（原状回復）できるように使用してください。
 - 会場の電源や給水を使用した企画はできません。
 - 特定外来生物は使用できません。また、絶滅危惧種（国際自然保護連合IUCNが作成したレッドリストにおいて「CR：深刻な危機、EN：危機、VU：危急」に該当する植物等）も使用できません。ただし、持続可能な利用のための措置が講じられているものは使用可能とします。
- ※ 主催者が灌水設備及び来場者向けにガーデンの紹介パネルを作成、設置予定です。

12.ガーデンの管理について

- 園芸博覧会の会期中は、主催者で水やりや花がら摘み等の最低限の管理を実施します。
 - 病害虫への対応は、物理的防除または生物学的防除を原則とし、やむを得ない場合のみ農薬を使用します。来場者への安全や環境への配慮から、除草剤や会場内の生物多様性への影響が懸念される農薬は使用しません。詳細は今後、2027年国際園芸博覧会協会が作成する病害虫防除の方針に従い主催者が実施します。
 - 会期中、制作者（採択グループ）によりメンテナンス（補植等）を行ってください（作業日程等は主催者と要調整）。
- ※ 学校の都合によりメンテナンスに来られない場合には、主催者と調整のうえ代行することも可能です。

13.活動費用について

以下の費用については、主催者から助成する予定です（ただし上限あり）。**助成額の上限は令和7年度4月頃に本公募要領を更新のうえ、農林水産省ウェブサイト内の本事業ページにて公表します。**

※ 応募に要する費用は応募者の負担となります。

※ ガーデン制作及び課題研究活動に必要な植物や資材・装飾物等は各自でご用意いただきます。

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
消耗品費	植物や資材購入費等、課題研究活動費用	植物や資材購入費等、課題研究活動や、会場でのガーデン制作費用	メンテナンスにかかる植物や資材の購入費用
旅費	キックオフミーティング等の参加にかかる旅費	会場でのガーデン制作にかかる旅費	メンテナンスや取組成果発表の参加にかかる旅費
アドバイザー派遣	課題研究活動にかかる費用	課題研究活動にかかる費用	

（参考）令和7年度（令和7年4月～令和8年3月）の助成額の想定

- 消耗品費※ 15万円程度/1グループ
- 旅費（会場まで） 5人分程度/1グループ
- アドバイザー派遣 2回分程度/1グループ

※助成対象は消耗品費です。備品費は助成対象外です。

14.出展校（採択グループ）特典提供

- 出展校は、本事業の取組を農林水産省や園芸博覧会の公式ロゴマークを使用したテンプレートにて紹介することができます。
 - 紹介にあたっては、園芸博覧会政府出展との関わりを示す呼称を使用できます。
- ※ 具体的な呼称名等は採択後にお示しします。

15.その他注意事項

- ガーデン制作作業中において、制作者の所持品等は、制作者の責任において管理するものとし、所持品等の損傷・盗難・紛失等について、主催者は責任を負わないものとします。
- 大雨、強風、積雪、天変地異、火災、第三者による悪戯またはその他の事由により、作品の全部または一部が倒壊・破損・紛失等した場合、主催者は作品の復元及び制作者への被害補償の責任を負わないものとします。
- 制作者の作品または制作者の責に起因して生じた制作者と第三者の間におけるトラブル・損害等、その他主催者の責に起因しない事情により制作者に生じた一切のトラブル・損害等について、制作者の責任において解決していただくものとし、主催者は責任を負わないものとします。
- 採択グループは、出展等に際し、日本の法令、神奈川県及び横浜市の条例並びに関係法規を遵守しなければなりません。
- キックオフミーティングやガーデン制作のために会場等に出向いていただく際には、参加者に万が一の事故や怪我が発生した場合に備え、主催者が適切な保険に加入いたします。ただし、学校等での課題研究活動中の事故や怪我については、各学校において責任を持って実施いただきますようお願いいたします。
- 園芸博覧会のサステナビリティ戦略等を尊重するとともに、園芸博覧会の一般規則及び特別規則並びに参加ガイドライン（今後順次公表予定）、アクセシビリティガイドライン、持続可能性に配慮した調達コード等を遵守する必要があります。
- 園芸博覧会会場に植栽する植物の調達に当たっては、「持続可能性に配慮した調達コード」を遵守し、調達先がGAP等の認証を受けていること等が必要です。これについては、「みどりの食料システム戦略」に資する取組の確認で代替可であり、「環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート」による確認等を想定しています。

(<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/kurokon.html>)

- ※ これらのサステナビリティ戦略や持続可能な調達コードなど「サステナビリティに関する取組み」については、2027年国際園芸博覧会協会ウェブサイトを参照してください。

(<https://expo2027yokohama.or.jp/about/sustainability/>)

- ※ 本事業の指定事項は、主催者により変更する場合があります。変更内容については、採択者への通知及び農林水産省ウェブサイト内の本事業ページにて公告いたします。

★お問合せ先★

- 農林水産省園芸作物課花き産業・施設園芸振興室（平日9時30分～18時15分 ※Emailは終日可）
- <TEL> 03-6738-6162 <Email> engeika_expo2027_ML@maff.go.jp

(参考) 2027年国際園芸博覧会 (GREEN×EXPO 2027) について

- 国際園芸博覧会協会公式ウェブサイト：<https://expo2027yokohama.or.jp/>
Instagram、Facebook、Xでも情報を発信しています。



2027年国際園芸博覧会 日本国政府出展 高校生 ガーデン制作グループ応募用紙

※本応募用紙の控えは各自で大切に保管してください。

①応募者

フリガナ			
学校名			
フリガナ			
グループ名			
グループメンバー			
	学年	学科	フリガナ 氏名
1			
2			
3			
4			
5			

- ※ 1の欄には、高校生のリーダーの方の記載をお願いします。
- ※ 必要に応じて行を追加してください。
- ※ 学校名については、本応募グループが応募することを承認する学校名となります。応募できるグループは承認する学校から1グループですので、ご注意ください。
- ※ 上記学校以外に所属する生徒は学科に学校名から記載してください。
- ※ 卒業や新入に伴うメンバーの入れ替わりが必要な場合、学校、学年、学科の変更等も主催者へご連絡下さい。

②責任者

フリガナ		
学校名		
フリガナ		
学校長名		
フリガナ		
担当教諭名		
学校所在地	〒	
連絡先	電話	
	Email	

- ※ 学校名及び担当教諭は、グループの応募を承認する学校等団体に所属しているものとします。
- ※ 人事異動等で担当教諭の変更があった場合は、主催者に連絡してください。
- ※ グループ内に複数校の学生がいる場合には、行を追加し、全ての学校教育機関の学校名、学校長名を記載してください。担当教諭名は代表者 1 名を記載してください。

③制作するガーデンのテーマ及びガーデンを実現させるための課題研究テーマ

制作するガーデンのテーマ
ガーデンを実現させるための課題研究テーマ
取組の目的や背景、意図（コンセプト） （上記ガーデンのテーマおよび課題研究テーマを設定した理由）

- ※ 公募要領6.応募テーマを加味したものとする。
- ※ ガーデンを実現させるための課題研究テーマには、取組内容を端的に記載してください。詳細は⑦研究計画の欄に記入してください。

④ガーデンデザイン

応募フォームに植物配置図（平面図）及び立体イメージ図をデータでアップロードしてください。

- ※ 5m×5m（25㎡）のガーデンの企画デザインを提出してください。（採択後の植栽場所は今後決定します。実際の地形に合わせた形となります。）
- ※ 植物配置図はA3用紙、縮尺を1/20とし、配置する植物及び装飾物をすべて明記してください。
- ※ ファイル名は、「"グループ名"+ "立体イメージ図 or 植物配置図"+ "提出日付"」としてください。

⑤ ガーデンデザインの解説

デザインしたガーデンの時期
月頃
ガーデンデザインの解説（こだわりや工夫した点等）

使用植物及び装飾物リスト			
番号	植物（サイズ）及び機材等名称	数量	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

- ※ 応募されたガーデンの植物配置図に必要なものを記載してください。
- ※ 必要に応じて行を追加してください。
- ※ 現時点の想定プランを記載してください。
- ※ 別途ファイルでご提出いただけます。その場合こちらは記入せず、ファイル名を「"グループ名" + "植物リスト" + "提出日付" 」としたデータを応募フォームにアップロードしてください。

⑦研究計画

研究内容及び手法	
研究結果のガーデンへの活用方針	
研究スケジュール	
※令和7年8月～令和8年12月	
年/月～年/月	実施研究内容等

- ※ 別途自由様式にてご提出いただいても構いません。その場合こちらは記入せず、「ファイル名を“グループ名”+“研究計画”+“提出日付”」としたデータを応募フォームに直接アップロードしてください。
- ※ 必要に応じて行を追加してください。

⑧活動資金計画（令和7年8月～令和9年9月）

年度	活動内容	科目	購入品目、用途	金額
R7	研究活動	消耗品費		
R7	キックオフミーティング参加	旅費	1回・合計 人	
R8	研究活動	消耗品費		
R8	ガーデン制作	消耗品費		
		旅費	回・合計 人	
R9	メンテナンス	消耗品費		
		旅費	回・合計 人	

※ キックオフミーティングは横浜市内で1泊2日での開催を想定し、概算費用を記載してください。

※ 上記の項目以外に必要と思われる項目があれば、行を追加して記載してください。

⑨経歴・過去の受賞歴（任意）

応募者（学校またはメンバー個人）について、経歴や過去受賞歴、手掛けた作品等がございましたら記入してください。また、過去の受賞作品の写真等、補足資料がある場合は、添付してください。

経歴・過去の受賞歴等

※ 別途自由様式にてご提出いただいても構いません。

※ 補足資料は応募フォームにアップロードしてください。

※ 普段作っている花壇やガーデンの写真等でも構いません。